

スタンドックス エクスプレスプレップワイプ U3000

特殊な酸性の化学的性質をベースとした、スタンドックスエクスプレスプレップワイプ U3000 は、そのまま使用可能で金属の前処理工程を非常に敏速かつ容易にします。

ワイプは、後の塗装工程に対して付着性と腐食保護性の両方を提供します。



- ・ 剥き出しの金属面の前処理用に処方されています。
- ・ VOC エクストリームフィラー用に特別に設計されています。
- ・ 素早く簡単に塗布作業が出来ます。
- ・ スタンドックス VOC サフェーサー類と併用する事で、露出した小範囲の金属素地部にも適しています。
- ・ 優れた付着性と腐食保護性を提供します。
- ・ 混合製品の様な、製品の準備やポットライフが無く扱い易い。
- ・ 1 枚のワイプで約 2 m² の処理が可能で経済的。
- ・ 2K 酸プライマーと比べ、フラッシュオフタイムを約 20-25 分短縮。
- ・ クロムフリーで VOC 含有量が(1.5%未満)非常に低く、簡単に使い捨てが可能。

革命的なプレトリートメントワイプ。



The Art of Refinishing.

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

スタンドックス エクスプレスブレップワイプ U3000

製品の使用について



作業中は呼吸器系、皮膚及び眼への炎症を避ける為、適切な防護服やマスク、安全メガネ等の保護具を必ずご使用下さい。



研磨・脱脂クリーニングした鋼板。

研磨・脱脂クリーニングした亜鉛メッキ鋼板、アルミニウム板。

縦・横・クロスに、均一に十分塗布し、表面を最低 1 分間湿らせて下さい。

これは化学反応を確実にする為に必要です。

金属面にのみ使用して下さい。

同じワイプを異なる金属面で使用しないで下さい。

混合無し



ポットライフ無し



VOC規制

VOC エクストリームフィラーが、特に適しています。

表面は乾燥してから 15 分以内にオーバーコートする必要が有ります。

2004/42/II B (a II) (200) 14: この製品（製品カテゴリー: II B (a II)）に対する欧州基準値は希釈済み塗料で VOC が最大 200g/L です。希釈済みでこの製品の VOC 含有量は最大 14g/L です。

製品構成

スタンドックスエクスプレスブレップワイプ U3000

製品の混合



混合無し

注意事項

- ・ スタンドックスエクスプレスブレップワイプ U3000 は凍結から保護する必要が有ります。
ワイプが凍結した場合、元の状態には戻らない損傷で再び使用する事は出来ません。
- ・ 使用中は適切な保護具を使用して下さい。: 防護服、安全メガネに加えて保護手袋が特に重要です。
- ・ 1K プライマー、ウォッシュプライマー、エポキシプライマーサフェーサー、ポリエステル製品、UV 硬化製品での使用は推奨しません。
- ・ ワイプを取り出した後は直ぐに容器の蓋をシールして下さい。
- ・ 複数回使用する場合、密閉したビニール袋又はプラスチック容器で最長その日の間は保管出来ます。
使用済みワイプは元の容器に戻さないで下さい。
- ・ 容器の底に液体が蓄積する場合は、容器を水平に転がして液体を再びワイプに吸収させて下さい。
- ・ 乾いたワイプは使用出来ない為、廃棄して下さい。
- ・ 水系のスタンドックスエクスプレスブレップワイプ U3000 はクロムフリーです。
- ・ 1 枚で 2m² 迄使用出来ます。
- ・ 補修工程で露出した小範囲の金属素地部にも適しています。
スタンドックス VOC システムフィラーU7540、スタンドックス VOC ノンストッププライマーサフェーサー U7580 と併用して下さい。

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」